

令和6年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	10	学校名	県立太田第一高等学校				課程	定時制		学校長名	谷津 勉					
教頭名	[全日制] 茂又 孝裕			[定時制] 塩谷 直人			[附属中] 小濱 靖彦			事務(室)長名	横山 弘美					
教職員数	教諭	69	養護教諭	3(1)	常勤講師	3	非常勤講師	5	実習教諭、実習講師、実習助手	1	事務職員	5	技術職員等	10	計	101
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	クラス数				
	普通科	0	1	1	1	0	0	2	0	3	2	4				

※養護教諭については3名中1名は養護助教諭。教職員数は兼務者もいるため、全・定・附中の全職員である

2 目指す学校像

グローバルな課題の解決に挑む力、持続可能な社会づくりに貢献できる力を育む学校
--

3 三つの方針 (スクール・ポリシー)

育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 自他を尊重する心と、より良く生きるための自己指導能力の育成 (2) 社会の一員として、持続可能な社会づくりに貢献できる力の育成 (3) グローバルな課題に気がつき、問題意識を持つことができる力の育成
教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 教師や友人とのかかわりの中で自己理解、他者理解を深化させる機会の設定 (2) 社会生活に必要な知識・技能を学びなおせるような個別最適化された学びの工夫 (3) 思考力・判断力・表現力を磨く場面が多くなるような授業の工夫 (4) 自己有用感や達成感、協調の意義を感じられるような学校行事の運営
入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	

4 現状分析と課題 (数量的な分析を含む。)

項目	現状分析	課題
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力が定着していない生徒が多い。 ・学習に取り組む習慣が身につけていない生徒が多い。 ・ほとんどの生徒が意欲的に学習に取り組んでいるが、指示がなくても主体的に取り組める生徒は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの個性を理解し、ICT などを活用しながら、個別最適化された学習指導を考える必要がある。 ・学習態度をより主体的なものに変えて行く必要がある。
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のほとんどが就職希望であるが、勤労観・職業観が十分に形成されておらず、進路に対する意識が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な勤労観・職業観を身につけさせるため、キャリア教育の充実が必要である。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムを自分で整えることが苦手で、長期休暇や行事の後などに欠席しがちな生徒が見られる ・自己肯定感が低く、自分の考えを表現することに消極的な生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者等と連携をとりながら、生徒に健康的な生活習慣の確立を促す工夫が必要である。 ・自己肯定感を高めるため、自己有用感の向上を促す工夫が必要である。
教職員の働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> ・超過勤務時間については月 45 時間を超える者はなく、おおむね良好である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに校務の効率化を図り、教職員一人ひとりのワークライフバランスがうまく確立するように環境作りをすることが必要である。

5 中期的目標

<ol style="list-style-type: none"> (1) ICT なども利用した、生徒一人ひとりにとっての個別最適化された学びを実現する授業の確立 (2) 社会に出る前に適切な勤労観・職業観を身につけられるようにするキャリア教育の充実 (3) 教師や友人たちとのかかわりの中で、自己理解、他者理解を深化させる機会の充実 (4) 生徒の自己有用感を高め、自己肯定感を育む学校行事の実現 (5) 教育の質向上のための効率的な業務の進め方による教職員の肉体的、精神的なゆとりの実現
--

別紙様式 1 (高)

6 本年度の重点目標

個別最適化された学びの推進	① 生徒による授業満足度の平均値が 80 パーセント以上
キャリア教育の充実	① キャリアガイダンスの実施 ② 担任による個別面談を月 1 回以上実施
学校行事の創意工夫	① 文化祭での生徒の役割分担を一人一役以上 ② 年間行事参加率平均が 80 パーセント以上
教職員の適切なワークライフバランスの実現	① 超過勤務時間が月 45 時間以上の教職員ゼロ